

令和3年度いじめ対策・不登校支援及び中途退学防止事業 教育活動充実支援事業【特別活動】研究成果発表 宮城県岩出山高等学校

「特別活動」

重点指導項目

- ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的な態度や健全な生活態度を育てる。
- 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。



今野先輩の紹介とメッセージ

自己を生かす能力の形成

取組① <生徒：講演会>
今野龍太先輩（東京ヤクルトスワローズ）
演題「目標を持つことの大切さ」

※○：生徒の取組 ●：生徒のメッセージ内容・感想等

- 朝読書の時間を使い全校放送で本校OB今野先輩の紹介と生徒昇降口に今野先輩の活躍紹介コーナーを設置した。
- 講演会に向けて準備をしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大等を考慮し講演会を来年度以降に延期となった。
- 今野先輩に向けて応援メッセージと全校生徒写真を作成したものを球団へ郵送する。
- 岩高の先輩が大活躍していることを朝読の時間の話を聞いて知った。
- メッセージ：「岩高の誇りです」「これからも活躍して下さい」「応援しています」「頑張ってください」等
- 実際に今野先輩に来てもらって話を聞きたかった。（多数）

取組② <外部講師：P4C>
庄司修教授（宮城教育大学）他2名
テーマ：「幸せ」「働く」等

※○：幸せについて ●：働くについて ◎：P4Cについての感想

- 自分とは違う考えを聞いてその人の考えも納得できた。
- 人それぞれ違いがあり、いろいろな人の意見を聞いて共感したことがたくさんありました。
- 一方の見方だけでなく多方面から見られるよう努力していきたいと思った。
- いろいろな意見を聞いて自分では思いつかなかったことを聞くことができた。
- ◎クラスメイトがどう考えているのかを聞く機会がなかったので貴重な時間になった。
- ◎担任の先生方から普段聞くことのできない生徒の考えを聞くことができて大変有意義な時間だった。

望ましい人間関係の形成



P4Cの活動

<●課題>
実施できない場合の代替活動計画



本校「特別活動」の目標

自己有用感の育成



- 1 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る
- 2 集団や社会の一員としてのよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる
- 3 人間としての在り方や生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う

多様な考え方や在り方の受容



<○成果>
P4Cは2回の実施であったが、生徒・教師共に手応えを感じている。継続していくことで望ましい人間関係の形成能力が高まっていくのではないかと考える。

